

打出のこづち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

令和3年3月4日の県議会一般質問において、「行財政運営」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「文化振興」について発言させていただきました。新県立図書館の利用促進策として読書通帳の導入を提案したところ、「有効な手段であり導入したい」との答弁を引き出すことができました。

行財政運営について

①令和3年度当初予算について

Q1 今回の大型予算により、県民の暮らしを守る決意を聞く。

A. 県民生活の安全・安心の確保は、行政の最も基本的な責務であり、今後ともコロナ対策に加え、災害に強い県土の基盤づくりや県民福祉の向上などに万全を期したい。

②ふるさと納税について

Q1 伝統工芸品など返礼品の充実に向けて、広く県内事業者に声掛けする機会を設けるべきではないか。

A. 消費者の嗜好を熟知している専門家の意見を聞いて選定したアンテナショップの商品を返礼品としており、今後もアンテナショップと連携し適宜返礼品の追加等により充実を図る。

Q2 小松空港・能登空港発着の航空券やホテル・旅館の宿泊券など、コロナ後の誘客を見据えた返礼品を検討してはどうか。

A. 関係部局と相談しながら検討する。

③コロナ禍における県職員の現状と対策について

Q1 令和2年に年次有給休暇の取得日数が5日未満であった職員数とその理由を聞く。

A. 5日未満の職員は全体の約1割で、その理由としては業務多忙が大半であった。

新型コロナウイルス感染症対策について

①新型コロナワクチン接種について

Q1 ワクチン接種の県の基本的な考え方を県民に発信すべきではないか。



一般質問で発言する様子

A. 発症予防等の有効性と副反応等の安全性の両面からよく考えてもらい、納得して接種することが重要と考えている。

Q2 県民はどのような情報をもとに、ワクチン接種の効果と副反応のリスクを理解し、接種するかどうかを判断すればよいのか。

A. 2月末から県のホームページやSNSを通じて情報発信を開始した。今後も様々な媒体を活用して積極的に広報を行う。

Q3 県民の理解を得るために、新型コロナによる年代別の死亡率、重症化率、接種率などの情報を積極的に公開すべきではないか。

A. 国が全国の状況を公表しており、なるべく多くのデータを集めることで特性の把握に資する効果が大きいというふうに考えている。

Q4 コロナ差別に係る相談体制をどのように充実するのか。

A. 知事部局だけでなく教育委員会や警察、法務局や労働局などの国の機関等を含めた連絡会議を設置し、相互に連携することにより、早期の問題解決に努める。

Q5 接種強制やワクチン差別が生じないよう、企業研修にそうした内容を盛り込むべきではないか。

A. 企業、団体向けの研修にワクチンを接種しないことによる差別を行ってはならない内容も盛り込む。

Q6

教育委員会においては、差別が生じないよう、どのように取り組むのか。

A. 県立学校においてホームルームの時間などの機会を捉えて生徒に指導する。

②コロナ禍における少子化対策について

Q1

昨年の県内の婚姻数と出生数は一昨年に比べてどうか。

A. 国の統計によると、昨年の婚姻数は4,509件で一昨年と比べ622件減少し、出生数は8,050人で116人減少している。

Q2

令和3年の出生数減少に歯止めをかけるために、経済的支援を一層充実させるべきではないか。

A. これまででもプレミアム・パスポート事業など本県独自の先駆的な経済的支援を実施しており、今後とも経済的な不安への対応をはじめ、安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に取り組む。

文化振興について

①新県立図書館について

Q1

子どもたちに読書の楽しさを伝え、利用者を増やすために、読書通帳を導入してはどうか。

A. 児童が読書に親しむきっかけづくりや図書館の利用促進に有効な手段であり導入したい。

Q2

まちの新たな拠点として、まちの活性化につなげる工夫を検討してはどうか

A. 屋内広場などで多くの方々に参加いただけるイベントを企画するなど、まちの活性化にもつながるような魅力あふれる図書館となるよう様々な工夫を凝らしたい。

②地域の祭りの再開について

Q1

再開に向けて、どのような後押しを検討しているのか。

A. 祭りの再開に係る経費について県民文化振興基金の補助対象とするよう検討する。

Q2

地域の祭りの重要性をどのように捉えているのか。また、再開への期待を聞く。

A. 祭りは地域の魅力を高め、地元への誇りや愛着を育むものとして大きな役割を果たしており、実施に向け従来とは異なる発想で知恵を出して検討してほしい。

読書通帳って何？

借りた本の題名や著者名などを読書通帳機で銀行の通帳のように記帳するものです。読書履歴が目に見えて記録されているので、子どもたちの読書意欲の促進が期待されます。



読書通帳機と読書通帳のイメージ

お住まいの地域で困ったことはございませんか？

[解決事例]

横断歩道の白線の補修

息子と散歩をしていたところ、金沢医療センター前の横断歩道の白線が消えていることに気づきました。この横断歩道は、バスで病院に来る患者さんや通学の生徒が多く利用していることから、横断歩道を管理する石川県警に補修を要望したところ、白線を引き直していただきました。

■補修前



■補修後



地域でお困りのこと、お気軽にご連絡ください！



打出きよふみ事務所

金沢市小立野3-23-27 近藤ハイツ1階
TEL: 076-260-1655 / FAX: 076-209-6715
Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問の録画映像を
こちらで視聴することができます。
ぜひご覧ください。

